

網走区消防組合消防本部・網走消防署新消防本部庁舎建設基本構想(案)についてのパブリックコメントの実施結果

○期間 令和6年6月5日～令和6年6月28日 24日間

○意見への対応

○意見を提出していただいた方の人数及び延べ件数

- ・インターネットによるもの 2人 のべ 2件
- ・ファクシミリによるもの 6人 のべ 14件
- ・郵送によるもの 1人 のべ 2件

- A ご意見を踏まえて、案の修正を検討するもの 0件
- B 今後の事業実施の参考とするもの 17件
- C ご意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済みであるもの 1件
- D その他(本計画そのものに対するご意見出ないもの) 0件

合計9人 のべ 18件

番号	意見	考え方	対応
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害が起きた時に避難所として活用できるようにしてほしい。</li> <li>・電気関係に障害が起きた時のため自家発電設備を設置してほしい。</li> <li>・災害に強いエネルギーを確保してほしい。</li> <li>・炊き出し用の調理器具等を備えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8、「3 基本方針、(4)」に記載のとおり一時避難エリアとして必要な機能を検討していきます。</li> <li>・国による災害対策庁舎に求められる指針のとおり、「72時間」以上、外部からの電源供給なしで非常用電源を稼働可能となる設備の整備と必要な燃料の備蓄を計画します。</li> </ul>	B
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の安全と地域防災を兼ね備えた施設にしてほしい。</li> <li>・長時間の停電に備えて自家発電設備、ソーラーパネルの設置してほしい。</li> <li>・災害時の避難民を収容できる施設、多人数が利用できるトイレやシャワー、長期間劣化しないLPガスによる炊き出し設備、避難時に使用する水・食料の備蓄してほしい。</li> <li>・津波が来ても倒壊せず、浸水しない構造にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国による災害対策庁舎に求められる指針のとおり、「72時間」は、外部からの供給なしで非常用電源が稼働可能となる設備の整備と必要な燃料の備蓄を計画します。</li> <li>・P8、「3 基本方針、(3)」のとおり、省エネルギー対策を図り、環境に配慮したエネルギー効率の高い庁舎を目指していきます。</li> <li>・次の建設位置は津波浸水想定区域からは外れることとなりますが、想定される車止内川浸水深に応じた、災害に強い庁舎を計画します。</li> </ul>	B
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の拠点機能を守るため消防署の供給エネルギーはLPガスにしてほしい。電力の供給が止まってしまっても、LPガスバルクがあれば、LPガス仕様の発電機を稼働させることができるため。また、油は劣化するがガスは劣化しにくい長期保存向きである。また、LPガスは燃焼時は二酸化炭素の排出量が低減できるため、環境に優しいエネルギーである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新消防本部庁舎の規模等に見合った燃料の種類について、設計段階で検討していきます。また、P8、「3 基本方針、(3)」のとおり、省エネルギー対策を図り、環境に配慮したエネルギー効率の高い庁舎を目指していきます。</li> </ul>	B
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラックアウトに備え電気がなくても炊き出しが出来る設備やシャワー室があったら良いと思う。また、ソーラーパネルや自家発電設備を設置し、災害時用として、携帯電話の充電、炊き出し、休養スペースを設けてほしい。</li> <li>・川や海が近いので、それに耐えられるような建物にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8、「3 基本方針、(3)」のとおり、省エネルギー対策を図り、環境に配慮したエネルギー効率の高い庁舎を目指していきます。また、国による災害対策庁舎に求められる指針のとおり、「72時間」は、外部からの電源供給なしで非常用電源を稼働可能となる設備の整備と必要な燃料の備蓄を計画します。</li> <li>・想定される車止内川浸水深に応じた、災害に強い庁舎を計画します。</li> </ul>	B
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不測の事態に備えて災害に強い建物であって欲しい。</li> <li>・災害対応力のあるLPガス発電機の常備とLPガスによる炊き出し資器材を整備してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8、「3 基本方針、(1)」に記載のとおり、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」に準じ、規定の耐震安全性を満たす構造とします。</li> <li>・P8、「3 基本方針、(3)」のとおり、省エネルギー対策を図り、環境に配慮したエネルギー効率の高い庁舎を目指していきます。</li> </ul>	B
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時を想定して市民用の備蓄品の保管場所などがあれば良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網走市防災部局と連携を図り検討を進めていきます。</li> </ul>	B
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時において消防業務を継続するための電源確保と効率的な熱源(LPガス)の選定してほしい。具体的なメリットは、劣化が少なく備蓄が容易、給湯、空調(冷暖房)双方に対応、自家発もLPIにすることで備蓄エネルギーの管理が容易、電気との併用で電力基本料金の低減が見込まれランニングコストが抑えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P8、「3 基本方針、(3)」のとおり、省エネルギー対策を図り、環境に配慮したエネルギー効率の高い庁舎を目指していきます。また、新消防本部庁舎の規模等に見合った燃料の種類について、設計段階で検討していきます。</li> </ul>	B
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時用備蓄品の保管場所を設けてほしい。</li> <li>・災害時に強いLPガス非常用発電機を備えてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網走市防災部局と連携を図り検討を進めていきます。</li> <li>・P8、「3 基本方針、(3)」のとおり、省エネルギー対策を図り、環境に配慮したエネルギー効率の高い庁舎を目指していきます。</li> </ul>	B
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の時点では賛成しかねます。それよりも署員の教育等に力を入れていただきたいと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P18「6 建設計画、(2)配置計画、③」のとおり訓練スペースを確保することで、より質の高い訓練、教育等に励んでいきます。</li> </ul>	C